



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第532号

2021年12月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 子育て世帯への臨時特別給付金10万円一括支給へ

12月8日、議案第17号 子育て世帯への臨時特別給付金として「5万円の支給分」の討論・採決が行われました。

日本共産党は、賛成討論の中で「国が自治体の実情に応じて全て現金給付も可能と発言したことから、早急に10万円一括給付の検討も行うべき。財政調整基金の活用で市民の声に応えるべき」と発言しました。しかし、14日の福祉常任委員会が開催された14日の時点でも、市の方針が出ていない状況でした。

ところが12月16日夕方、八千代市も「10万円現金一括支給」で実施するとの報道資料が発表されました。最終決定は22日の市議会に追加議案として上程され、採決の結果次第ですが、24日の振り込みには銀行側の協力もあり可能との判断に至ったとのこと。

市民や国民の声によって国は、「一括現金給付でもペナルティ無し」と発言。千葉市や柏市など他の自治体などが一括方針を打ち出すなどで得た結果です。

声をあげれば政治は変わる！嬉しい結果です。同時に、生活困窮者の方々にも給付金が速やかに届くよう頑張ります。



## 市民の利益に反するものには反対

「日本共産党は反対ばかりしている」との意見をよく聞きますが、本当にそうでしょうか。実際、この1年間に提出された市長提案の議案のうち、反対しているのは3割程度です。市民の利益に反するものに賛成できないのは当然ではないでしょうか。

日本共産党は、反対する場合にも理由を明らかにするため、「質疑」「討論」をしています。さらに、賛成であっても市民にわかりやすく説明するための質疑も行なっています。

## 市民の願いに背を向ける自民・保守、公明

ところが、13日の総務常任委員会において、市民の関心の高い「選択的夫婦別姓を求める」請願や、14日の文教経済常任委員会で、日本共産党が提出した「八千代市学校給食費の助成により実質無償化を実施する条例の制定」を求める発議案について、反対をした議員は「質疑」も「討論」も行わず、黙って反対をしました。

多くの市民の願いである請願や発議案に反対するなら、理由を明らかにするべきです。市民の願いに背を向け、黙って座っている議員に対して「議員のお仕事を伺いたい」と市民から日本共産党

裏面に続く→

議員団に質問が来ました。

市議団からは「ぜひ、議場への傍聴やホームページからライブ中継か録画中継を見てください」と案内を致しましたが、八千代市では、常任委員会の録画は実施していません。市民の声に応えるためにも船橋市のように常任委員会の録画を今後要望していきたいと思います。

総務常任委員会では、「選択的夫婦別姓を求める」請願に、賛成の植田進議員や三田登議員から、「ジェンダー平等社会の実現の観点からも含意は妥当」「自民党衆議院議員の中でも反対しているのはわずか28%に過ぎない」との意見や討論がありましたが、反対した議員は一言も発言ありません。

賛成	植田 進（日本共産党）、三田 登（市民の会）
反対	末永 隆（公明党）、林 利彦・辰巳百恵（自民党）、宮内鋭（絆）

文教経済常任委員会で、「八千代市学校給食費の助成により実質無償化を実施する条例の制定」について、伊原忠議員から「年間5～6万円近くもかかる給食費を無償化することで、保護者の負担を軽減できる」と賛成討論がありましたが、反対の議員からは質疑も討論もありませんでした。

賛成	伊原 忠（日本共産党）
反対	木下映実（公明党）、江野沢隆之（自民党）、澤田新一（市民夕） 大澤一治（絆）、山口 勇（新未来）